

おはつら



令和2年10月1日(木)第27号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



中秋節

【10月1日】



今日、10月1日は「春節」「端午節」と並ぶ中国の伝統的な三大節の一つである「中秋節」。

中秋とは、秋のちょうど真ん中の日を意味し、旧暦の8月15日を指すのだそうです。中国では昔から8月15日は「月を祭る日」とされています。昔から美しい月を眺める習慣はありましたが、特に中秋の月にこだわるようになったのは、約1100年前、唐の時代から。その後、月餅(げっぺい)を食べ、祭壇に「月光馬児」や「月神の神像」などを飾る習慣が広がったとか…。

平安時代、こうした中国の風習が日本に伝わり、貴族を中心に「十五夜」の美しい月を楽しむようになりました。

皆さんは「中秋の名月」と聞いて満月をイメージすると思いますが、月の満ち欠け(新月から満月)の周期は、約15日と一定ではないため、十五夜と満月の日も例年1~2日程度ずれることが多いそうです。

今日10月1日の月齢は14.7。明日、10月2日午前6時が満月になるようです。



体育専門アドバイザー来校

9月25日(金)、いわき教育事務所体育専門アドバイザーの佐々木先生が来校し、上学年の授業のお手伝いをしていただきました。

この日の授業は「陸上運動(走り高とび)」。準備運動に引き続き、「運動身体づくりプログラム」に取り組みました。

大学までソフトボールをされていたという佐々木先生は終始キラのある動き。ゴムとびでも颯爽と模範を見せてくれました。

今後も体育専門アドバイザーなどの外部人材を活用し、教育の充実を図っていききたいと思えます。



明夢祭練習はじまる

宿泊学習も無事に終わり、昨日の5・6校時から明夢祭の練習が本格的に始まりました。

先日、配布しました案内の通り、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域の方々をご招待せず、児童生徒の家族の方々に限定して来校いただくことにしました。

そうした中にあっても、子ども達は素晴らしい明夢祭にしようと話し合いを重ねてきました。

内容はまだ明かせませんが、小中学校それぞれに趣向を凝らし、内容の濃い発表になりそうです。

保護者の皆さま、どうぞご期待ください。



「沢尻の大ヒノキ」を学ぼう 「沢尻の大ヒノキ」価値再発見事業



先日、支所の地域振興担当の方が来校し、川前町振興対策協議会の「沢尻の大ヒノキ」を活用した町づくり事業についてお話がありました。

事業の第1弾として小中学生向けに大ヒノキの歴史や現在の生育環境などについて講座を開催して下さるそうです。地域資源について学ぶことができる大変貴重な機会です。参加を通して郷土への愛着と誇りを深めてくれることを期待しています。
※下校時刻の変更が考えられます。追ってご連絡いたします。

<日時> 10月5日(月) 13:30 ~ 14:30
 <場所> 川前町活性化センター
 <講師> 鈴木 俊之 氏 (樹木医)

リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.098 μSV/h 10/1 8:10

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

